

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	魅力あふれる個店づくり	施策No	05-05	部課名	産業経済部産業振興課
				課長名	秦野 内線 468

関連部課名	
-------	--

行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市
	政策	05	活力ある地域経済づくり

目的
来街者が何度でも訪れたい魅力ある店舗を生み出すための支援を充実するとともに、意欲のある個店同士が連携し、技術と知恵を結集させることのできる仕組みづくりを支援する。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		28年度	29年度	30年度	
①	まちの産業	2.57	2.56	2.60	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると思いますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	街なか商店塾参加店舗数（店）	68	68	72	64	80	
②	一店逸品運動参加店舗数（店）	10	10	8	10	15	
③	魅力あふれる個店づくり事業メールマガジン登録数（件）	—	25	42	55	500	
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
行政費用	給与関係費	11,268	10,381	▲ 887	地方税	0	0	0	
	物件費	2,115	2,039	▲ 76	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	3,182	4,232	1,050	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,438	1,208	▲ 230	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 18,003	▲ 17,860	143	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	18,003	17,860	▲ 143	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 18,003	▲ 17,860	143	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 18,003	▲ 17,860	143		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	491	501	10	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	5,744	3,815	▲ 1,929	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	5,744	3,815	▲ 1,929	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	6,235	4,316	▲ 1,919	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 6,235	▲ 4,316	1,919	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 6,235	▲ 4,316	1,919		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		
資産の部合計	0	0	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として給与関係費や補助費等の割合が高くなっている。前年度と比較すると、補助費等が増加しているが、平成30年度は「魅力ある店舗創出支援事業」の補助費等が増加したことによるものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○平成29年家計消費状況調査によると、ネットショッピングを利用した世帯の割合は、過去10年間で18.6ポイント増加する等、消費者の購買行動は大きく変化している。</p> <p>○こうした中、区では地域に密着した商店街ならではの個店に着目し、その魅力と存在価値を高めるため、「街なか商店塾」や「一店逸品運動」を推進し、こだわりの店の発掘やPRを進めてきた。</p> <p>○平成26年度荒川区商業事業者訪問支援事業調査によると、他業種の事業者等との連携について、約80%が「無し」と回答しており、新たな連携構築への消極的な姿勢が伺えた。</p> <p>○このため、平成29年度からは、「魅力あふれる個店づくり事業」を開始し、意欲のある個店の支援、個店同士の連携構築、新たなアイデアや取組に対する支援等を実施している。</p> <p>○また、平成30年度荒川区商業事業者訪問支援事業調査によると、他事業者と「連携あり」と回答した事業者は、売上高が増加している事業者の割合が高いことから、個店同士の連携構築をより一層推進している。</p>
課題	<p>○商店街の客足が減少傾向にある中、多くの個店では、顧客との会話を通じて消費者の購買意欲を引き出すことのできる、商店街ならではの優位性を活かしてきていない。その隠れた魅力を掘り起こすための支援が必要である。</p> <p>○個店が単独で、情報の収集や事業のPR等の取組を行うことは限界があるため、個店同士が互いに連携・協力し、相乗効果を上げるネットワーク構築が必要である。</p>
今後の方向性	<p>○意欲ある個店への継続的な支援として、「魅力あふれる個店づくり事業」、「街なか商店塾」を一層推進し、個店の魅力向上に取り組む。</p> <p>○魅力あふれる個店の発掘を進めるとともに、個店の魅力の一層の向上を図るため、専門的な知識を持ったコーディネーターによるアドバイス、ノウハウの提供等の支援を充実させる。併せて、魅力ある個店を広く周知し来街者の増加を図るため、区内外へのPRを積極的に進める。</p> <p>○「魅力あふれる個店づくり事業」では、魅力ある個店同士が、商店街の枠を越えて新たな連携構築を進めることのできる環境を整備するとともに、他業種との連携を強化する仕組みづくりを支援している。今後は、個店同士が主体的に情報交換や相互の支援等を行える機会を充実させる等、新たなアイデアや取組の創出につながる支援を展開していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
重点的に推進	重点的に推進	意欲ある個店を積極的に支援し、個店の魅力を高めることは、区内商店街及び地域の活性化に繋がるため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
魅力あふれる個店づくり事業	06-01-11	6,082	6,571	2,768	3,044	重点的に推進	重点的に推進	商店街や地域の活性化を図るためには、意欲のある個店の支援、個店同士の連携構築、新たな取組の実現に向けた支援を通じ、魅力ある個店を育成することが非常に重要であるため、重点的に推進する。
魅力ある店舗創出支援事業	06-01-19	629	1,417	76	913	推進	推進	事業実績・事業効果を踏まえ、事業の周知と実効性のある事業を展開する。商店街活性化及び個店改善につながる事業であるため、推進する。
街なか商店塾事業	06-01-21	5,811	5,818	1,944	1,787	重点的に推進	重点的に推進	個店支援の中心事業であるため、重点的に推進する。
一店逸品運動推進事業	06-01-23	4,319	3,495	452	472	重点的に推進	改善・見直し	より実効性のある事業を展開するため、魅力あふれる個店づくり事業への統合を含めた改善を行う。
商業振興功労賞表彰事業	06-01-27	1,162	561	56	56	継続	継続	商業事業者を顕彰することは、モチベーションの向上による商業振興につながることから、継続して実施する。
商業・サービス業経営力向上支援事業	06-01-39	0	0		-	重点的に推進	重点的に推進	区内商業・サービス事業者の集客力向上や労働生産性向上を図るため、重点的に推進する。
合計		18,003	17,862	5,296	6,272			